

KIDS SMILE LABO JOURNAL

Vol.34
March
2024
TAKE FREE

“キッズ スマイル ラボ ジャーナル”

KIDS SMILE LABO が発行するフリーペーパー。普段 SNS でしか見られない保育園の子どもたちの様子や、子育てに関する情報等、最新情報をお届けします。



KIDS SMILE LABO の 1 枚。

副園長の森誉さんが選んだ、とっておきの 1 枚を紹介します！

“ただゆったりと、ただあたたかく”

青い空には白い雲がいくつもあって
そのうちの一つが目にとまった
「あの雲は～」と話したす彼に
保育者がそっと耳を傾ける

ゆったりと空を流れる雲のように
二人の時間もまたゆったりとしていて
春の日差しのように温かい空気に包まれている

話を聞いてくれる人
自分の気持ちを受け止めてくれる人
そういう人が居る
それはとても心地がいい
自分が自分で在れるから
その子らしく伸びていく

photo & text by morimori

JOURNAL TOPIC

01 KIDS SMILE LABO CLASS NEWS

いよいよ今年度が終わろうとしています。
1 年を振り返ってのコメントも一緒に掲載してありますよ。

02 第 3 回 KIDS SMILE LABO 卒園式

今年のテーマは『多様性』 3 人のキラキラと輝く姿をどうぞご覧ください。

kidssmilelabo.com



@kidssmilelabo

KIDS SMILE LABO

@kidssmilelabo

@KIDS_SMILE_LABO

KIDS SMILE LABO CLASS NEWS

AND 1 年を振り返って

今年度も KIDS SMILE LABO の保育にご理解ご協力いただきまして誠にありがとうございました。
どろんこの洗濯、絵の具のついた服、ズボンに空いた穴、みなそらだいちさんは、お弁当や登園時間のご協力。
私たちの過ごす日々は、保護者の方のご理解ご協力はなくては成しえないことばかりです。
重ねてお礼申し上げます。

2021年に開園してから、毎年様々な新しい事に子どもたちも私たち大人たちも、心を動かしながら日々を過ごしてきました。
今年度にスポットを当てますと、初めての夏祭り、お月見泥棒、畑仕事、餅つき...と子どもたちの「やってみたいこと」と、私たち大人の「やってみたいこと」で彩られてきました。

私たちの園は、毎年同じ年がないところが魅力の一つでもあると感じています。

来年度はどんな1年になるか、まだ予想できないことばかりですが、子どもたちと私たち大人で来年度も彩り豊かにしていきたいと思っておりますので、引き続きどうぞ宜しくお願い致します。



かおちゃん

0 year こもれび

いろんなきもち

この一年を振り返ると、赤ちゃんだった子ども達が、ハイハイやつかまり立ち、歩行と、目に見えて大きな成長があり身体も大きくなりました。
友だちと一緒に過ごす日々の中で、いろいろな感情も芽生えていると感じています。

今、激しくなっているのが玩具の取り合いです。

友だちが持っているものが魅力的に見え、自分も手にしたくなるようです。

取り合いが始まったころは、一方的に取られてしまうことも多かったのですが、最近の違いは、取られそうな気配を感じるとサッと逃げたり、取られるもんかと、引っ張り合い、声をあげて泣きながらも手を離さなかったりと様子が変化してきました。
保育者はそれぞれの気持ちに寄り添い、解決方法や打開策を提案しながら、いろいろなやり取りを体験できるように心がけています。

すると最近、手を合わせて「かして」のポーズで相手に気持ちを表現する姿も見られるようになってきました。それですぐに貸してもらえないわけではないのですが、時々貸してもらえたり、他の友だちが違う玩具を手渡してくれたりすることがあり、そんな時には大いに褒めて一緒に喜び、「嬉しいね、ありがとう」の気持ちを表現することにしています。

そうすることでまた一つ新たな気持ちが芽生えることを願っています。

保護者の皆さまも、様々なご協力ありがとうございました。

文ふくちゃん



こもれびクラスの担任となり、生まれて間もないかわいい子ども達をお預かりさせていただき、かけがえない時期を保護者の皆様と関わらせていただいたこと、子どもたちの成長を共に喜び合えたことを、本当に嬉しく幸せなことだと思っています。
また、日々の保育を温かくご支援いただいたこと、深く感謝しています。

子ども達と過ごす毎日は本当に楽しく、笑いの絶えない一年でした。ありがとうございました。



ふくちゃん

今年度は1人からスタートしたこもれびクラスも、今では6人の仲間がいる賑やかなクラスになりました。

お父さんお母さんから離れての初めての生活、初めての集団生活に、泣いたり笑ったりを繰り返しながら小さな身体で様々な経験を積み重ねていく姿に大きな成長を感じます。
「ややや〜(あやや)」と言いながらぎゅっ♡とハグしてくれる瞬間はたまらなく幸せでした！

これからも子ども達に寄り添いながら、共に成長していけたらと思います！

保護者の皆さまも、様々なご協力ありがとうございました。



あやちゃん

自分の行きたい場所で 自分のやりたいことを！

そよかぜクラスの子どもたちは、自分の気持ちを言葉にして伝えてくれることが増えてきました。

散歩先を決める時に「どこにいきたい？」と聞くと「中央公園！」と返事が返ってくるが多かった3月。子どもたちと何度も足を運びました。

今までは公園内でも保育園に帰るまで同じ場所で遊ぶ子どもたちでしたが、遊ぶ姿が変化し、公園内の色々な場所を散策することを楽しむようになりました。どんぐりを餌にして鳩にあげる、斜面をのぼっては滑ること、切り株の上に立ち「やっほー」と声をだすこと、モミジバフウの実を集めること、雨上がりの水たまりにはいることや泥あそびなど、自分のやりたいことを自分で見つけて遊ぶ姿が印象的でした。

遊んだ後の園までの帰り道では、「中央公園楽しかったね」「また、いこうね」「はとがどんぐり食べたね」と、楽しかった気持ちを言葉にし、友だちと共有する姿もありました。

自分が行きたい場所を言葉にし、自分のやりたいことを思いきり遊ぶことができた子どもたちの表情は笑顔で溢れていました。
これからも LABO でたくさんの「やりたい！」「やってみたい」をどんどんカタチにしてほしいと思います。

文さっちゃん

そよかぜクラスでの1年間、たくさんの成長を見せてくれた子どもたち。単語から2語文、3語分となり、友だちとの会話のやりとりを楽しむ姿、オムツやズボン、靴下や靴を自分の力で履けるようになったこと、友だちと手を繋いで歩けるようになったこと、苦手な食べ物を一口だけでも頑張る姿とたくさんの経験を重ね、心もからだもまたひとつ大きくなりました。4月から大きい部屋での生活。
次の1年間もどんな成長を見せてくれるのか楽しみです。



さっちゃん

可愛くて大切な7人のそよかぜさん。みんな、とってもおしゃべりが上手になり散歩の行き帰りや日々の生活の中での会話がとにかく楽しく可愛い泣きに何度も癒されました。

まだまだ一緒に過ごしたい気持ちがありますが4月からはいよいよお部屋が広がります！楽しみです！

これからもキラキラした眼で「楽しい！おもしろい！」発見し続けてほしいなと思います。

1年間、暖かく見守って下さりありがとうございました。



れいちゃん

1 year そよかぜ



2 years
のばな

さあ、冒険の始まりだ！

のばなさんは2月から日々の散歩の中で冒険をしていました。冒険は、散歩の中で細い小道を下って川へ行ったことから始まりました。小道を下りる時のワクワクした気持ちから、子どもたちは「冒険の始まりだぞ〜！」「冒険♪冒険♪」と口にし、川周辺へ出かけることを冒険と名付けました。川では大きな鳥や草花を見つけたりと、冒険の度に新しいものに出会ったので『のばな冒険地図』というものを作り、何を見つけたか、どこにあったか、どんなことをしたか、などをみんなで振り返りながら地図に貼っていきました。振り返る中で、「大きな鳥に会えたのが嬉しかった」「虫が探したい」と楽しかったことや、やってみたくて口にする姿も見られたので、双眼鏡や虫眼鏡といった新しい冒険アイテムも使ってきました。

ある時、お気に入りの石を探して皆で見せ合おうと提案しました。それぞれ拾った石に「バナナ石」「新幹線石」と名前をつける姿が見られました。大きな石、細長い石、丸い石と、形や色も様々で、一つ一つ違った魅力を見つめる面白さを感じたのばなさん。探すことの楽しさを知り、石だけでなく色々な自然物に目を光らせ「これ何？」「こんなところにお花咲いてる！」と、見つけるって面白い！という気持ちの芽がすくすく伸びているようでした。

子どもたちが見つけたものはどれも身近にあるもの。でも、それが宝物になる。見つけた宝物が地図いっぱいが増えていく面白さや、見つける喜びをみなもさんになっても大切にしてほしいなと願っています。

文 みーちゃん

毎日気持ちを思いきり出し、泣いたり笑ったり...まるでジェットコースターのような1年間。午睡の時間に、毎回みーちゃんと振り返りをしていたのですが、「今日はみんな穏やかだったね！」という日は恐らく数えられる程でした笑
そんな『2歳児』を全力でやりきったのばなの子どもたち。大変さを感じることも多かったのですが、それ以上に愛くるしくて可愛い7人。とても幸せな時間を過ごさせて頂きました。
保護者のみなさまと一緒に悩んだことや他愛のないお話で心を緩められたこと、何よりこどもたちの「今」に携わることができたこと、本当にありがとうございました。

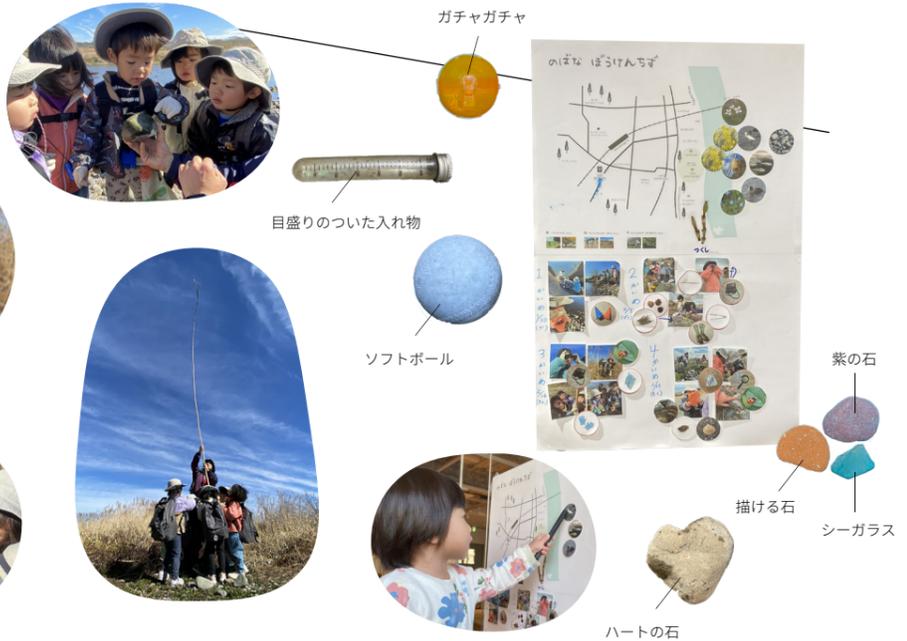


あづあづ

ありきたりな言葉になってしまいますが、毎日が駆け足をしているような速さで過ぎていきました。走ってきた道を振り返ると、苦手なものが食べられるようになったり、泣かずに靴が履けるようになったり、自分の思いを言葉にして言えるようになったりと子どもたちのグッと成長した場面をいくつも思い出します。
そんな日々の成長を子どもたちや保護者の皆様と一緒に喜ぶことができてとても幸せでした。向き合いながら走ってきた1年間、とても楽しかったです！ありがとうございました。



みーちゃん



3 years みなも 4 years おおぞら 5 years だいち

子どもたちと作る場所

焚き火をするために何度か訪れていた河原。野花さんが河原で冒険をしている様子から、水面大空大地のみんなでも遊びに行ってみることにしました。河原に着くと、川を覗きに行った子たちが小魚の群れを見つけ、網を伸ばしてみますが届かず、、、小魚に近づくと、石の橋をかけることに。その日は川の真ん中にある小島へ渡るための橋ができ、今度は向こう岸に渡りたい！という気持ちが高まりました。

そして、数日後に行った際に再度橋作りをスタート。「もってきたよー！」「ありがとう！」石を運んでくる子、石を川に投げて橋を作る子、水彩クレヨンで石を塗って橋に彩りを加える子などみんなで協力して橋作りを行う子どもたち。帰り道には「また明日も川いきたい」「たのしかったね」と声が聞こえ、その日の給食時にも「大地さんが石置いたんだよね」と、子どもたちの記憶に強く残っている様子でした。そんな様子から連日河原へ。3度目でついに橋がかかり、向こう岸に渡ることができました。そこにはテトラポッドがあり、上に立ってみたり寝転んでみたりと、不安定な場所の登り降りや全身の力を使いながら楽しむ子どもたち。遊びながら目に留まったゴミを見て、「ゴミ落ちてるよ！」とゴミ拾いもしました。

自分たちで石を運んで、橋を作りあげ、少しずつ子どもたちの中で遊び場として定着してきた河原。当初の目的であった魚を捕まえることよりも、今は橋作りが楽しかったり、島で遊ぶことが楽しかったり、目の前の面白いことに惹かれていく様子が見られました。

これからこの場所でどんなことができたなら面白いだろう、どんなものがあったらワクワクするだろう。そんな今後は子どもたちと考えると、一緒に遊び場を作り上げていくことが楽しみです。

文 れいじくん



この頃、何気ない日常の中の子どもの姿を見ていて驚かされる事が多く、ふと4月に担任になった頃のことを思い出して一人懐かしんだりもします。そうさせるのはこの1年の個々や集団の成長の大きさなのでしょう。そして、子どもたちはそんな自分の成長、友達との成長に気づき喜び場面もあります。子どもたちってすごいです。真っ直ぐで。あたたかくて。教わることがたくさんありました。一緒に心を動かした時間は私にとって生涯の宝物であり、人生に立ち合わせていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。保護者の皆様、一緒に歩んでいただき本当にありがとうございました。



ちなちゃん

KIDS SMILE LABO で働き始めて1年、この1年間は僕にとって鮮烈で彩り豊かな時間となりました。子どもたちと過ごした日々は、当たり前ではなく、大切に愛して素晴らしい1日1日なのだ、子どもたちの成長とともに肌でひしひしと感じました。
保護者の皆様、温かく迎えてくださりありがとうございます。来年度も目の前の子どもたちにとってより良い関わりができるように努めていきたいと思っています。



れいじくん

今年度、フリーとして各年齢の子どもたちと関わって感じたことは、ラボの子どもたちの感性の豊かさ、それぞれの年齢ごとの面白さ。子どもたちは今を生きる人たちであり、その時間を共にできることは本当に貴重なことだと改めて感じています。
また、担任である保育者たちの子どもを想う気持ちの温かさを感じた一年でもありました。みんな真剣で愛に溢れた人たちばかりです。
まもなく新しい一年が始まりますが、まるっと受け止めてくれる保育者たちがいます。どうぞ進級の心配はなさらず、お子さんの成長を共に喜びましょう。
保護者の方々には日々の保育へのご理解ご協力をいただいていること、誠に感謝しております。
新年度はどんな一年になることでしょうか。
ラボらしく、さまざまなやってみたくてカタチになって彩られていきますように。



もりもり

第3回 KIDS SMILE LABO 卒園式

3人の個性輝く旅立ちの日



2023年度の卒園式が開催されました。今年の卒園児は3名。卒園式ではLABOのコンセプトでもある「やってみたいをカタチに」にちなみ、それぞれが時間をかけて取り組んできたことを発表しました。取り組みの内容は、ロボットづくりの博士・忍者・チャイナドレス屋さんと三者三様であり、今年はその3人の取り組みや旅立ちを『多様性』というテーマでお祝いしました。

今回、感染症の流行により練習が少なくなったり、当日に3人が揃うかもドキドキした時間がありましたが、本番では元気に揃うことが叶い、嬉しさを噛み締めました。

会の前には緊張でカチコチの子もいましたが、いざ入場となるとしっかりと足取りで登場し、運しさいっぱいでした。そしてさらに発表では堂々とした声、まなざし、笑顔が見られ3人の成長を大きく感じた時間となりました。

会の途中には、れいじくん作の、制作過程を大事にしたメイキング映像、おまけ映像が流れました。その様子からも3人の真剣な取り組み、普段のおちゃめな姿がたっぷり伝わったのではないかと思います。

卒園証書には担任二人で想いを込めた詩を贈らせていただきました。真っ直ぐな瞳でこちらを見てその言葉を聞く姿は、今でも目に焼き付いて離れません。LABOでの時間を胸に、新しい世界を謳歌して欲しい気持ちを精一杯込めさせていただきました。

そして、4歳児から卒園児へ贈られた言葉とお花のプレゼントには、一言、一言に溢れる気持ちが込められており、仕草の一つ一つからは恥ずかしさと共に、大好きな気持ちを頑張って伝えている様子が伝わってきました。そして、その気持ちを「ありがとう」と受け止める年長さんの優しい声。仲間の絆や、個々の成長を感じる、愛しさいっぱい時間となりました。

実は卒園式の練習前には「嫌だな」という声が4,5歳の子から聞かれたりもしました。その気持ちを聞くと「卒園式をしたらお別れになっちゃうから終わってほしくない。。。」とのことでした。一緒に過ごしてきた時間が心に残したものの大きさが伝わってくるようで、グッとこみあげるものがありました。

4月からはそれぞれが新しいスタートを切るわけですが、一緒に過ごしてきた時間や、築きあげられてきた仲間の絆は消えません。

みんなで歌った『ね』の歌詞のように。おじいちゃんになっても。おばあちゃんになっても。繋がっていられた仲間であらたら嬉しいなと思います。
文 ちなちゃん



憧れの忍者になって登場！
忍者の洋服は一針ずつ手縫いで作りました。
みんなの前で隠れ身の術を披露し、見事成功！



進級したときか作る！と決めていた『チャイナドレス』
自分に似合う生地を選んで作りました。



自分よりも大きいロボットコピー機を分解したり、ミロードさんにダンボールをもらいに行き作りました。



卒業証書授与



「おとうさん、いつもあそんでくれてありがとう」
「おかあさん、いつもごはんつくってくれてありがとう」



4歳児からお花のプレゼント
「いつもカルタのよみかたおしえてくれてありがとう。だいすきだよ。」

今年も〈約束の花束〉さんが華やかに会場を彩って下さいました。
今年度の『多様性』というテーマを聞き、構成を考える中で『スイミー』の絵本と出会い、この作品が生まれたとのこと。

約束の花束 神奈川県厚木市中町3-8-6 ヴェントゥール本厚木1階
yakusoku-no-hanataba.com / @hinageshi_kikuo



ウェルカムボードはゆうゆが作成いたしました。
『多様性』のテーマから、大地さんの個性をボードに表現するために、3人と一緒に挑戦したフルドアートを丸い窓から覗かせています。
レジンで作ったドームの中には、3人が取り組んだ『忍者』『チャイナドレス』『ロボット』にちなんだアイテムが入っています。



だいち組の3人ご卒園おめでとうございます！